

医師臨床研修制度について 看護師の立場より

2008. 12. 17

NTT東日本関東病院

木下佳子



NTT東日本関東病院

使用可能病床 606床

(一般病棟556床

精神病棟50床)

外来患者2,290人／日

入院患者 481人／日

平均在院日数10.5日

医師 189人

看護師 635人

(平成19年度)

東京都指定二次救急医療
機関



病院長

落合慈之

副院長

小西敏郎

診療部

連携診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器科、肺外科、神経内科、高血圧・腎臓内科、腎臓病・血液浄化センター、糖尿病・内分泌内科、血液内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、ガンマナイフセンター、脳卒中センター、整形外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、精神神経科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック科、リハビリテーション科、緩和ケア科、予防医学センター、予防医療室、健康管理室

中央診療部

放射線部、手術部、集中治療部、救急センター、内視鏡部、臨床検査部、病理診断部、滅菌・供給部、薬剤部、輸血部、栄養部、臨床工学部、臨床写真室、総合相談室、がん相談支援室、医療安全管理室、診療情報管理室、治験センター

感染対策推進室

看護部

運営企画部

企画担当、情報システム担当、総務担当、人権啓発担当、医事企画担当、医療連携室

連携統括部

当院の研修医制度の歴史

昭和26年 関東逋信病院誕生

昭和27年 関東逋信病院研究員、研究生及び研究員に関する
内規（研修期間は1年）

昭和43年 医師法の一部を改正する法律 法第47号 を受け、
病棟医制度設置委員会が発足

研修期間； 4年間（1年目；専門診療科における基礎的研修
2年目；内科系、外科系の診療科の臨床
3・4年目；専門診療科における高度な臨床）

研修者；36名

身分；見習い社員

給与；一般医師と同様

以降、レジデント委員会が研修制度の管理を行う

当院の研修医制度の歴史

昭和46年 レジデントハウス完成

昭和59年 電電公社からNTTへの移行により、レジデント制度の大幅な見直し

研修医立場;職員採用→1年ごと契約更新する嘱託社員へ
研修定員;36名→18名へ

平成16年 現研修制度へ

研修プログラム

主目的；医師としての基本的な人格を育成し、医学・医療に対する社会的要請を認識しつつ、プライマリケアを中心とした基本的診療能力を身につける

特徴；関東病院で主研修を行い、同様の診療指導内容が行えるNTT東日本伊豆病院で地域・保健医療研修を行い、都心では不可能と思われる分野での研修を補完している。症例の少ない小児研修については大森赤十字病院にて行っている。

当院の研修プログラム;内科系(6名)

1 年 目	必修	内科研修科	6ヶ月;内科系研修科の中から1科選択し2ヶ月、他の6科を選択科の2ヶ月とあわせ各1ヶ月研修とする
		外科	2ヶ月
		麻酔科	2ヶ月
	選択	内科基本研修科	2ヶ月
2 年 目	必修	精神科、産婦人科、小児科、地域保健医療、放射線科、緩和ケア、脳卒中センター 1ヶ月の研修	
	選択	選択科	4ヶ月;全ての診療科から2科選択
		外科系選択科	1ヶ月;外科系の診療科から1科を選択

当院の研修プログラム;外科系(6名)

1 年 目	必修	内科研修科	6ヶ月;内科系研修科の中から6科 選択し各1ヶ月研修する
		外科研修科	6ヶ月;外科4ヶ月、心臓血管外科、 肺外科、整形外科から2科選択し 各1ヶ月研修する
2 年 目	必修	精神科、産婦人科、小児科、地域保健医療、放射線科、 緩和ケア、脳卒中センター 1ヶ月の研修	
		麻酔科	3ヶ月
	選択	選択科	2ヶ月;全ての診療科から1科を選 択し研修する

出席すべきカンファレンス

- クルニカルボード(毎週1回)
- クリニカルカンファレンス(毎月1回)
- デスカンファレンス(毎月1回)
- 総合臨床懇話会(4ヶ月毎)
- リスク管理職員集会
- クリニカルパス講習会
- 救急症例検討会
- SIRSカンファレンス(毎週1回)
- 電子診療録講習会

研修プログラム

- オリエンテーション(1日); 医師の心得、IC、電子診療録の扱い方、保険診療、諸検査、放射線取り扱い、薬剤処方、書類取り扱い、当直体制、救急患者の対応、院内感染対策、リスク管理、図書館・文献利用など
- 看護師新人教育 共同看護技術研修(半日)
- ICLS(1日)
- 中心静脈カテーテル挿入研修

SIRSカンファレンス

(Systemic Inflammatory Response Syndrome)

重症に移行していく危険のある患者を
早期に発見し、適切な対処、適切な
診療科のコンサルテーションを受けら
れるように調整を図る

研修制度に対する看護師からの感想

- 多くの科を回ることで、プライマリケアに必要な経験を積むことができている。
- 精神科や緩和ケアを経験することで、向精神薬やオピオイドの使用方法、せん妄患者への対応、倫理的問題への対処などを学び、他の診療科の研修で活かすことができている。
- 指定された診療科で研修し、目標を達成するためには最低でも2年間は必要である。

研修制度に対する看護師からの感想

- 看護師にとって、新しく回ってきた研修医にその都度教えるのは大変だが、業務が標準化されていることが支えになっている。
- 1年目の看護師の技術研修に参加することは有益である。基礎的な技術が覚えられ、一緒に働く人として分かり合える。

研修制度に対する看護師からの感想

- いろいろな新しい知識をもったレジデントが、各科を回ることは、専門特化した医師達の新たな発見、考え方の変化につながっている
- レジデント同士が、同じ患者を共有することになり、情報交換が行われ、横の連携を強める意味で良い面がある。